

地域経済特殊研究

担当者 太田 一樹

開講時期 通年 単 位 4

特殊研究は1～3年次の3年間を通して行われる演習科目です。

●講義の概要

経営に関する課題に焦点を定め、経営戦略やマーケティングなど既存の経営理論を適用しながら経営現象を解明していく。その解明においては、正しい研究の方法論に従って作業を進めていくことが求められる（先行研究の丹念なサーベイ、仮説設定や検証の方法など）。最終的には博士学位申請論文の完成を目指す。テーマの一例をキーワードであげると、経営戦略、イノベーション、マーケティング、中小企業経営などである。

●講義の到達目標

専門分野の理論を理解し、同分野の理論を批判的に検討できる能力を涵養する。また、フィールドリサーチなどを通じて、仮説を導出しそれを検証できる能力も修得してもらいたい。最終的には、博士学位申請論文の完成を目指す。

●講義計画

上記の到達目標が達成できるように次のような指導を予定している。

1年次：研究テーマに関する学術論文を読みディスカッションを行う。併せて、フィールドリサーチを企画・実行するなどして、研究課題（リサーチ・クエスション）を絞り込む作業を行う。

2年次：先行研究を批判的に検討しながら新規性・独自性も意識した論文全体の構想と、論の具体的組み立てを行うことになる。可能であれば、研究会や学会などで報告する。

3年次：上記の作業を踏まえて、博士学位申請論文の完成を目指す。

●成績評価基準と方法

上記の到達目標の達成度を測るために、次の方法で評価する。

研究テーマに関する学術論文を理解し、的確なディスカッションができるか。また研究課題（リサーチ・クエスション）を絞り込む作業ができていないか（20%）。

先行研究を批判的に検討しながら新規性・独自性も意識した論文全体の構想と、論の具体的組み立てができていないか（30%）。

学会や研究会などで報告（あるいは投稿）するなどして客観的な評価を受けているか。それを踏まえて博士学位申請論文に相応しい水準の論文を執筆しているか（50%）。

以上を総合的に勘案して、最終評価をする

●テキスト又は参考文献

テキストについては受講生の関心と知識レベルを勘案して相談しながら決める。また、参考文献については適宜紹介する。

●受講上の留意点

研究する目的をしっかりと持ち、3年間で博士論文を仕上げるといふ強い意志を持って入学してほしい。また、関連する学会や研究会にも参加し報告することもあるので、そのための労力と時間が確保できることが必要となる。